

北翔

hokushou

2023
新年号



一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会

も く じ

ごあいさつ 北海道知事	鈴木 直道	1
札幌市長	秋元 克広	2
(一社)北海道ビルメンテナンス協会 会長	岡田 知己	3
令和4年度表彰		4
創立60周年記念行事		5
第60回優良従業員表彰式		9
令和4年度東北・北海道BM協議会		11
令和4年度労働安全衛生大会		12
令和4年度労働災害防止論文		21
令和4年度労働災害防止標語		26
各地区協議会トピックス		27
新会員紹介		36
事務局職員		36
製品情報		37
ビルメンひろば		40
広 告		43

表 紙 説 明 (ビルメンテナンス会館)

当会館の所在地は札幌市中央区北3条西17丁目2番3号。地下鉄東西線西18丁目駅から徒歩8分程度。付近には知事公館や道立近代美術館があり大変環境の良い場所に位置しています。

建物内は地下1階、地上3階建てになっており、地下1階は最大収容人員159名（3人掛け）で主な設備は大型スクリーン(120インチ)、固定式高輝度液晶プロジェクター、DVDプレーヤー一体型ビデオ等。3階は最大収容人員160名（2人掛け）で、大型スクリーン（80インチ）、固定式高輝度液晶プロジェクター、DVDプレーヤー一体型ビデオ等が設置されています。

また、それぞれの研修室の様子を他の研修室で見ることができ、毎年、当会館で開催されるビルクリーニング技能競技会は、3階で競技を行ない、地下1階で観戦・応援が出来ます。

このように設備の充実した会館は、各種会議や研修など大いに活用されています。



令和5年知事年頭所感

北海道知事

鈴木直道

新年明けましておめでとうございます。新春を迎えるに当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、ウクライナ情勢に端を発した国際情勢の変化に伴うエネルギーや原材料等の価格高騰や円安基調などにより、道民の皆様の生活や事業者の方々の経営環境に大きな影響が及びました。また、記録的な大雪による交通障害や高病原性鳥インフルエンザが発生したほか、知床沖で発生した観光船遭難事故は多くの尊い命が失われる大変痛ましいものとなりました。

道民の皆様の安全・安心を守る重要性を改めて認識した1年となりましたが、本年においても、感染症をはじめとする様々なリスクへの対応に万全を期してまいります。また、物価高騰等への対応など足下の影響を緩和しながら、将来の成長につながる取組を後押しし、道民の皆様の暮らしの安心と本道経済の活性化を図ってまいります。

一方、コロナ禍など困難な状況にあっても、北海道の魅力が広く発信された1年ともなり、北海道のアンテナショップ「どさんこプラザ」を道外に新たに3店舗出店したほか、3年ぶりに開催された「北海道マラソン2022」には、過去最多の約1万8千人が参加し、「ガーデンフェスタ北海道2022」では、恵庭市のメイン会場をはじめ全道各地の協賛会場に多くの方々にご来場いただきました。また、ふるさと納税の寄附受入額が、個人版・企業版とも、3年連続で全国1位となったほか、首都圏からの本社移転や、サテライトオフィス開設などの動きも引き続き活発となりました。

道民の皆様、そして北海道を応援して下さる多くの方々から、ご理解とご協力をいただいたことに、改めて感謝申し上げます。

新しい年においては、脱炭素化やデジタル化

といった社会変革の動きの本格化や、世界的な食料需給を巡るリスクの顕在化を踏まえ、「エネルギー」「デジタル」「食料」の3つの分野への対応がより大切となります。

世界的に関心が高まっている脱炭素化に向けては、本道の強みである豊富な再生可能エネルギーを最大限活用することが重要です。その上で、暮らしや生産性の向上、地域の活性化といった、次なる成長とその好循環につながるよう、「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、全庁一丸となって取り組んでまいります。また、ICTやAI、ロボットなどの未来技術を活用した社会の実現に向けて、ドローンの実証を進めるなど、地域課題の解決に向けたデジタル化の取組を加速します。こうした取組を支える本道と本州を結ぶ送電と通信の2つの海底ケーブルの整備や、洋上風力など再生可能エネルギーの供給拡大に取り組み、「北海道データセンターパーク」の実現につなげてまいります。食料安全保障の重要性の高まりに対しては、我が国最大の食料供給地域である北海道としての役割をより一層発揮できるよう、生産力と競争力の強化を積極的に進めてまいります。

本年は、国内外から大きな注目が集まるG7気候・エネルギー・環境大臣会合やアドベンチャートラベル・ワールドサミット2023、全国豊かな海づくり大会が開催されるほか、北海道ボールパークFビレッジも開業します。こうした好機を確実に捉え、本道の魅力や強みを国内外に向けて発信していくことが重要となります。道民の皆様とともに、直面する様々な困難を乗り越え、北海道の価値を一層磨き上げながら、活力あふれる北海道の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

本年が、皆様にとりまして、希望に満ちた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



年 頭 所 感

札幌市長

秋 元 克 広

年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の流行が続 き、医療従事者の皆さまをはじめ、市民・事業者の皆さまには、多大なるご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

こうした一方で、オータムフェストなどを3年ぶりに会場で開催したほか、国内外からの観光客も回復の兆しが見られ、感染症対策と社会経済活動の両立に向けて着実に歩みを進めることができた1年であったと感じております。

私が市長に就任してから7年8カ月が経過しましたが、この間、人口が減少局面にある中でも、札幌のまちが将来も持続的に発展していくために、市民・企業の皆さまの力をお借りしながら、まちの経済力を高め、その成果を子育てや福祉などに還元していく好循環を形成することに力を入れてまいりました。

具体的には、経済の分野において、積極的に企業誘致に取り組み、人材育成や新たなビジネスを創出するための拠点整備など、魅力ある雇用の創出に努めてまいりました。

また、子育てや福祉の分野では、保育所定員の拡充や、AIを活用したチャットボットを導入しましたほか、福祉に関する課題を複合的に抱える方を組織横断的に支援する体制を一部の区に整備するなど、誰もが安心して暮らせる環境づくりに取り組んでまいりました。

加えて、近年、担い手不足や加入率の低下などの課題が生じている町内会の意義や重要性を

広く共有していくため、「札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例」を制定いたしました。

本市といたしましては、こうした取組を通じ、引き続きより暮らしやすいまちの実現を目指してまいります。

さて、今年4月には、札幌市において「G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合」が開催されます。本市では、2030年までに温室効果ガス排出量を2013年比で約6割を削減するという高い目標を掲げ、気候変動対策を積極的に進めており、今回の大臣会合を通じて、本市の環境への取組を国内外に発信するとともに、脱炭素社会の実現に向けた動きを加速させてまいります。

また、今年はさっぽろ雪まつりを3年ぶりに会場で開催いたしますほか、9月には体験型観光の国際会議であるアドベンチャートラベル・ワールドサミットが北海道で開催され、市内でもさまざまな会合が行われます。こうした機会をチャンスと捉え、札幌の経済・観光の再生と、さらなる魅力向上につなげてまいりたいと考えております。

今年も、感染症対策など目前の課題解決に引き続き尽力するとともに、将来にわたり持続可能な都市・さっぽろの実現に向け、市民・事業者の皆様と一丸となって、全力で取り組んでまいりますので、どうか皆さまのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって、素晴らしい1年となることを心より祈念申し上げます。



2023年・年頭所感

「新しい時代と業界の発展に向けて」

一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会

会 長 岡 田 知 己

新年、明けましておめでとうございます。
2023年の幕開けにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

当協会は、昨年で創立60周年となり、この大きな節目を迎える事ができたのも、諸先輩方のご努力と関係機関の皆様のご理解・ご協力の賜物であり、この紙面をお借りして心から敬意を表するとともに、感謝とお礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、一昨年に中止や延期された各種事業・行事を行ったところですが、年末年始においては、特に北海道において、これまでにない規模で感染が拡大しており、まだまだ安定した終息が見えない状況です。

こうした中、昨年10月に改定された最低賃金は、一昨年に引き続き、過去最大となる賃金の引き上げとなりました。また、これに加え消費者物価指数の上昇や電気代の上昇となど、この度の最低賃金の引上げやエネルギー価格・物価上昇等により、適切なビルメンテナンス業務の継続的な実施に支障が生じる可能性が十分にあります。

道協会としては、労働集約型産業であるビルメンテナンス業は「人が財産」であり、賃金の引き上げは社会的責務であると認識しておりますが、これら業界を取り巻く環境は昨年にも増して極めて厳しい状況にあります。

このため、道協会では、中小企業・小規模事業者の窮状をしっかりと考慮した対応が行われるよう、各方面に最低制限価格等の算定基準見直し、最賃大幅引き上げに伴うスライド制度先行導入及び入札制度の改善などについて働きかけ行ってきました。

何れにいたしましても、コロナ禍の出口は未だ見えませんが、道協会としては、引き続き、これまでの実践を通じて培ってきた経験を強みにして、必ず訪れるコロナの終息後において、この強みが十分に発揮でき、この先に向かって大きく前進できるものと考えております。

北海道新幹線札幌駅の動きなど、北海道には、すぐ先にある新しい時代が控えています。

今年も皆様にとりまして最良の年となりますよう、共に頑張っていきましょう。

令和4年度において、当協会から下記の方々が受章及び受賞されました。
受章及び受賞された皆様は、長年に亘り企業内はもとより、ビルメンテナンス業界の発展のために幅広く尽力されました。

令和4年秋

◎北海道社会貢献賞

生活衛生関係（建築物環境衛生）功労者

後藤 裕弘 氏（帯広ビル管理(株) 代表取締役会長）

※後藤 裕弘 氏は令和4年12月25日にご逝去されました。長年の当協会に対するご貢献に感謝申し上げますとともに謹んでお悔みを申し上げます。

令和4年秋

◎北海道社会貢献賞

生活衛生関係（建築物環境衛生）功労者

安藤 則昭 氏（室蘭ビル管理(株) 代表取締役）

創立60周年記念行事

60th 1963-2022
Anniversary

令和5年1月11日（水）に「創立60周年記念式典」を札幌グランドホテルにおいて優良従業員表彰式とともに開催しました。式典には北海道労働局、北海道、札幌市の行政、関係団体、協会顧問、全国協会関係者及び会員企業の方々など、多くの業界関係者のご出席のもと執り行われました。式典では、記念表彰として岡田会長より「特別功労」「永年企業」「運営功労」「地区功労」に受賞された方々に表彰状及び感謝状が授与されました。

また、北海道より、これまでの当協会の公衆衛生の確保における建築物の環境衛生の向上に

貢献したとして、感謝状をいただきました。

式典後に橋本聖子先生（参議院議員・当協会顧問）による「記念講演」（経営セミナーも兼ねる）が行われ、多くの受講者が橋本先生の貴重なお話に熱心に耳を傾けていました。

最後に、記念行事を締めくくる「祝賀会」が、橋本先生をはじめ、鈴木知事、秋元札幌市長、一戸全国協会会長、協会顧問の和田道議、船橋道議、山田札幌市議、飯島札幌市議ほか多くのご来賓、記念表彰受賞者、会員企業など約180名の出席のもと盛大に開催しました。



石田副会長（開式のことば）



岡田会長式辞



受賞者



北海道より道協会への感謝状



多田副会長（閉会のことば）



感謝状



記念講演 橋本聖子先生



祝賀会

創立60周年記念表彰

特別功労

江藤 恭一	株式会社江藤美装
吉田 泉	株式会社東洋実業
阿部 勲	ビケンビルサービス株式会社
後藤 裕弘	帯広ビル管理株式会社



永年企業

北洋ビル管理株式会社
中央ビルメンテナンス株式会社
日東美装興業株式会社
オホーツク美装興業株式会社
株式会社とまビルサービス
株式会社東洋建物興業
東洋建物管理株式会社函館支社

株式会社セイビ函館
株式会社フジファシリティー
株式会社第一エンジニアリング
札幌施設管理株式会社
三幸株式会社北海道支店
株式会社小樽ビル管理
三城美装株式会社



運営功労

田 辺 康 夫	オホーツク美装興業株式会社
佐 藤 孝 雄	株式会社苫小牧エージェンシー
金 子 勉	一般社団法人北海道ビルメンテナンス協会
前 田 善 之	一般社団法人北海道ビルメンテナンス協会
村 田 保 夫	一般社団法人北海道ビルメンテナンス協会
藤 村 忠 明	株式会社北海道防疫サービス
木 村 進 一	北海美掃株式会社
岡 村 雄 一	一般社団法人北海道ビルメンテナンス協会
小 林 博	オホーツク美装興業株式会社
遠 藤 雅 之	協和総合管理株式会社
三 浦 昌 行	東京美装北海道株式会社
望 月 陽 介	北海建物管理株式会社
谷 口 雅 人	株式会社ベルックス
山 中 智 雄	グイビ株式会社
丸 谷 秀 仁	株式会社ベルックス



地区功労

伏 木	進	株式会社キタデン
宮 嶋	秀 行	日興美装工業株式会社
中	祐 二	株式会社東洋実業 旭川営業所
田 辺	康 夫	オホーツク美装興業株式会社
小 林	泰 志	北海美装興業株式会社
宮 武	亨 丞	株式会社メンティス
深 井	政 男	クリーンメンティック株式会社
井 澤	義 雄	株式会社セントラルビルサービス
後 藤	裕 弘	帯広ビル管理株式会社
白 井	英 幸	日東美装興業株式会社
高 氏	英 年	株式会社帯広公害防止技術センター
水 野	光 宏	株式会社とまビルサービス
伊 藤	弘 敏	株式会社東洋実業 室蘭営業所
藍 原	聡	株式会社日光美装
中 田	稔 彦	伊達環境管理株式会社
中 田	富 久	株式会社中田商会
成 田	豊	株式会社テーエスシー・テスコ



第60回 優良従業員表彰式

令和5年1月11日（水）に「優良従業員表彰式」を札幌グランドホテルにおいて、創立60周年記念式典とともに開催しました。

会員企業において、日ごろの清掃や設備管理業務等に精励し永年の努力が認められた優良従業員（94名）と、当協会が募集した令和4年度労働災害防止論文・標語の入選者（9名）の方々の表彰を行いました。

表彰は石田副会長による開会のことば、岡田会長の式辞、ご来賓の北海道労働局、北海道、札幌市より祝辞をいただきました。

その後、優良従業員の方に表彰状が授与され、続いて労働災害防止論文・標語入選者へ表彰状が手渡されました。

受賞者を代表して、(株)テックサプライ山口仁さんから謝辞があり、多田副会長の閉会のことばにて表彰式を終了し、記念撮影が行われました。

表彰の栄誉に輝いた皆様にこころからお祝い申し上げます。



表彰式の様子



受賞者



表彰式の様子



謝辞 受賞者代表
山口 仁さん (株)テックサプライ

優良従業員と労働災害防止論文・標語の入選者の方々



第60回 優良従業員受賞者



労働災害防止論文・標語 入選者

令和4年度 北海道・東北BM協議会（青森市）

本年度は、9月15日（木）～17日（土）に釧路市（ANAクラウンプラザホテル釧路）及びその周辺において東北6県及び北海道の協会からの参加のもとに行われ、今回で53回目の開催となりました。会議は、伊藤英明東北地区本部長、山田春雄北海道地区本部長の両名による挨拶から始まり、特別講演では、釧路新聞社代表取締役の星匠（ほし たくみ）様から「ひがし北海道の魅力」についてご講演をいただきました。休憩をはさみ、全国ビルメンテナンス協会の関内健治事業開発部主任による「入札に係る業務発注」についての講義に引き続き、当協会の岡田知己会長が座長になり各県の実情についての報告・意見交換が行われました。会議後、夕食会を開催し、一戸隆男全国ビルメンテナンス協会会長からご挨拶をいただき、その後余興も行われ、東北6県と北海道との懇親を

深めました。翌日（第2日目）には、自然観察体験と文化施設視察の2グループに分け実施し、懇親会を開催し、翌日解散となりました。昨年、青森市で開催した本協議会は、コロナのため参集範囲を限定しての開催でしたが、今回は感染者が減少傾向にある中、感染防止対策を徹底した上で通年どおりの形式で開催し、全国協会3名、北海道54名、東北37名、ビル新聞1名の総勢95名の参加となりました。

地元、釧路地区協議会の皆様、本当にご苦労様でした。

令和5年度は、秋田県内で開催する予定です。

- ・開催日 9月15日（木）～17日（土）
- ・場 所 ANAクラウンプラザホテル釧路及び周辺



会議の様子



伊藤東北地区本部長



山田北海道地区本部長



星匠講師



岡田座長



多田副会長発言



一戸会長挨拶



釧路地区本部の皆さんと会長

令和4年度 労働安全衛生大会

（一社）北海道ビルメンテナンス協会主催・厚生労働省北海道労働局の後援を受け、昨年度に続き新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を北海道労働局指導のもと全道8地区で総勢114社、257名の参加者を得て開催しました。

また、各開催地での開会にあたり厚生労働省北海道労働局長 友藤 智朗 様のメッセージを紹介しました。

講義・講演は、各地区の労働基準監督署の講義に加え、“室蘭・函館・苫小牧・北見”4地区では、（一社）日本労働安全衛生コンサルタント会北海道支部より講師を招き“労働災害の防止や健康の保持等を題材とした”講演をいただきました。

“十勝・釧路・札幌・旭川”4地区では（一社）北海道労働安全サービスセンターの集団支援を活用して、安全講話「危険を知って災害を防止し、エイジフレンドリーな職場を作ろう」と題して以下のとおり講演されました。

ビルメン業界における労働災害の中でも転倒災害の件数は非常に多い。原因は多岐に及ぶが、歩き方・ぼんやりと考え事をしていた・体調不良・身体の衰え・滑り易い靴を履いていた・凍結路面を通った・現場の環境 等々がある。

軽くつまづいて転んだ程度でも、場合によっては頭を強打したり、手をついて骨折したりと重症化するケースもある。年齢が上がるとそれに乗じて重症化率も上がる。

対策としては、例えば通勤時であれば、予め滑りそうな箇所を予想して、避けて通る事や、職場であれば従業員皆でリスクのある箇所・発生しそうな箇所を共有して対策を施すことは有効である。

考え事や心に迷いがある場合・精神的に余裕のない場合は、いつも注意を怠らないような方でも集中できずに労働災害を起こすケースもある。

体力面でも年齢とともに体力が低下するが、日々の体力維持・強化を行い、肉体的なケアは重要である。

特に腰痛は就労している方の多くが抱えている問題だが、日々の腰痛借金を貯めないよう短時間でも日々のストレッチを継続的に行う事は推奨されている。

1 室蘭地区大会

(1) 9月14日(水) 13:30～「アパホテル室蘭」にて開催され、8社32名が参加しました。大会は、中川正夫事務局長の司会進行により、室蘭地区安藤則昭会長の開会挨拶、北海道協会労働安全衛生委員会・島 典賢委員長の主催者挨拶と進められました。講義・講話終了後、室蘭地区藍原 聡副会長の閉会挨拶では、安全衛生と新型コロナに注意を呼びかけ、労働災害撲滅を誓って、労働安全大会を閉会しました。

(2) 講義・・・室蘭労働基準監督署副署長 阿部香矢様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題してご講義いただきました。

基本に忠実に安全マニュアルを作業毎に作り、きちんと理由を説明して作業員に周知し、意識付けをして欲しい。室蘭労基では「STOP！転倒災害プロジェクト」に力を入れて取り組んでいる。転倒の物的要因としては、滑りやすい床や路面、床の段差や凸凹、足元が見えない状態での作業があり、人的要因として作業員の高齢化による躓きがある。これに対しては、「4つのS」即ち整理・整頓・清掃・清潔を心がけ、転倒しにくい作業方法を取るとともに、滑りにくい靴の着用や危険個所にステッカー等で注意喚起し、体操など適度に体を鍛えるなどの対策が必要である。

(3) 講演・・・(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会北海道支部の若本憲隆様が、安全講話「労働災害の撲滅と健康の保持」と題して、以下のとおりご講演いただきました。

昨年の労災発生状況では、ビルメンテナンス業では、全国では墜落・転落、転倒、激突が多いが、特に転倒が圧倒的に多い。年齢的には60歳以上が圧倒的で全体の3分の2を占める。

60～70代には若い人も多いが、動作緩慢、判断遅延なども見られる。

転倒災害は、「すべる」「つまずく」「踏み外す」ことによって発生することから、転倒防止策として、5S（整理・整頓・清掃・清潔・習慣）を心掛け、注意表示をすることも有効であるし、良い歩き方の習慣化、転倒しにくい靴の使用、予測して歩く習慣をつけるといったことも大切である。労災事故の多い中高年者のストレスの原因には、身体面、心理面及び社会面から来るものがあるが、その対処法としては、会話、食事、買い物、運動、適量の飲酒、趣味、旅行、音楽、散歩、読書やヨガなどがあり、リラクゼーション法としては、スポーツ、筋弛緩法、マッサージ、自律訓練法、睡眠、イメージ療法、バイオフィードバック療法、音楽、絵画、芳香、温泉などがある。リラクセス法としては、五感に快刺激を与える、緊張と弛緩のバランスを取る、大いに笑うなどがある。



開会挨拶 室蘭地区協議会 安藤会長



主催者挨拶 道協会 島労働安全衛生委員長



講演 函館労働基準監督署 阿部副署長



講演 (一社)日本労働安全衛生コンサルタント会 若本講師



閉会挨拶 室蘭地区協議会 藍原副会長



労働安全衛生大会 参加者

2 函館地区大会

- (1) 9月20日(火) 13:30～「五島軒 本店」にて開催され、22社32名が参加しました。
大会は、函館地区 野戸理事の司会進行により、函館地区 成田会長の開会挨拶、北海道協会 島労働安全衛生委員長の主催者挨拶と進められました。
来賓として、函館労働基準監督署 署長の菊池様よりご挨拶をいただきました。
講義・講話終了後は、函館地区 筒井理事の閉会挨拶で終了となりました。
- (2) 講義・・・函館労働基準監督署 安全衛生課長 井森一晶 様より「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、ご講義いただきました。
函館管内において、もっとも多い労働災害は転倒、続いて墜落・転落となる。
転倒については、厚労省にて作成リーフレットを皆さんにお配りしている。関連する腰痛予防についても用意しているので、そちらを見ていただきたい。
ポイントを絞って丁寧に記載されているので、各事業所において積極的な活用をお願いしたい。
今年、残念ながら死亡函館管内で死亡災害が発生してしまった。熱中症対策として2種類のリーフレットを用意させていただいたが、衛生教育の一環として、管理者、従業員共に知識を得ていただき、情報共有をお願いしたい。厚労省において、予防動画も用意しているのでご覧いただきたい。
特に暑熱順化については、通常は1週間程度の時間がかかると言われている。
気温に慣れていないうちは、休憩をこまめに取り水分補給が必要となる。その為には従業員の状況の把握が必要となる為、管理者においても理解度を高めた上で適正な対応をお願いしたい。
- (3) 講演・・・(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会北海道支部の佐藤尚武様が、安全講話「KYTそしてRAへ」と題して、ご講演いただきました。
昭和36年には6,700人も多くの方々が労災で亡くなっている。昨年は770人の労災死亡事故があったが、過去に比べると大幅に減少している。しかし、別の見方で見ると未だに770人もの方が労働災害により亡くなってしまったと言える。特に北海道においては、多くの労災が発生しており、普段からの予防取り組みが重要となる。
災害発生のメカニズムを読み解くと災害に至るプロセスを見つける事が出来る。
物の不安全な状態に不安全な行動が重なった際に労災は発生する。発生前の段階でKYT（危険予知活動）、RA（リスクアセスメント）により改善を行う事が重要である。日頃から職場内で危険箇所や危険動作について話しあい対策を練るようにしていただきたい。



開会挨拶 函館地区協議会 成田会長



主催者挨拶 道協会 島労働安全衛生委員長



来賓挨拶 函館労働基準監督署 菊池署長



講義 函館労働基準監督署 井森安全衛生課長



講演 (一社)日本労働安全衛生コンサルタント会 佐藤講師



閉会挨拶 函館地区協議会 筒井理事

3 十勝地区大会

- (1) 10月4日(火) 13:30～「とち館」にて14社39名が参加し開催しました。

工藤事務局長の司会進行により、帯広地区 高氏会長の挨拶と北海道協会水野副会長の開会挨拶により開会いたしました。新型コロナウイルス感染対策として参加者同士距離を取っての開催となりました。

十勝地区協議会 高氏会長による開会挨拶、北海道ビルメンテナンス協会 岡田知己会長の主催者挨拶に続き、帯広労働基準監督署 署長 土谷 啓二郎様より「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題しましてご講話を頂きました。続いて中央労働災害防止協会北海道安全衛生サービスセンター専門役 安全管理士 橋本 秀利様より「危険を知って災害を防止し、エイジフレンドリーな職場を作ろう」との内容で講演を頂きました。最後に、十勝地区協議会 小川副会長の閉会挨拶で無事終了致しました。

- (2) 講義・・・帯広労働基準監督署 署長 土谷 啓二郎 様より「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、以下のような講義をいただきました。

十勝地区においては、毎年これからの時期は特に凍結路面など注意が必要なので、通勤時の屋外では十分に気を付けてほしい。現場では廊下での発生が多い。濡れたブルーシートなどは要注意である。

脚立やはしごなど足場を組んでの清掃作業は、正しいルールの下、周囲に気を配って行うよう着実に行っていただきたい。無理に脚立を使わず、優先を低くして可能であれば使わない方法も模索願いたい。

高齢者雇用については、管理者側にて配慮をお願いしたい。転倒など発生した場合、骨折などにより大怪我になる場合もある。また、体力的な低下などにより、作業が思うようにいかなく焦る場面などがあった場合も、管理者側にてお声がけなどしていただきたい。

- (3) 講演・・・中央労働災害防止協会 北海道安全衛生サービスセンターの講演は、道内4地区の内容を、安全衛生大会先頭ページに掲載しております。

北見地区担当 専門役 安全管理士 橋本 秀利 様



開会挨拶 十勝地区協議会 高氏会長



開会挨拶 道協会 岡田会長



講義 帯広労働基準監督署 土谷署長



労働安全衛生大会 参加者



講演 北海道安全衛生サービスセンター 橋本講師



閉会挨拶 十勝地区協議会 小川副会長

4

釧路地区大会

(1) 10月5日(水) 13:30から釧路市交流プラザさいわいにて釧路地区労働安全衛生大会を会員、非会員合わせて18社34名の参加をいただき開催しました。開催に当たり、釧路地区協議会 臼井会長から、最近の労働災害の発生状況等に関するお話を含めて開会挨拶がありました。

また、北海道ビルメンテナンス協会 水野副会長から、労働災害防止について、本日の大会で得た知識を従業員の皆様にお伝えいただき、実践してほしいなどのお話しを含めた主催者挨拶がありました。

講演の第一部では 釧路労働基準監督署 労働基準監督官 前田 明彦 様より「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題し、ビルメンテナンス業における労働災害防止ガイドライン等に関する講話をいただきました。

第二部では、「危険を知って災害を防止し、エイジフレンドリーな職場を作ろう」と題して、中央労働災害防止協会 北海道安全衛生サービスセンター専門役 安全管理士 橋本 秀利 様による安全講話をいただき、腰痛防止における対策など説明いただきました。

講演終了後、全員で安全作業を誓い合い、釧路地区協議会 星野副会長による閉会挨拶により、令和4年度釧路地区労働安全衛生大会は終了いたしました。

(2) 講義・・・釧路中央労働基準監督署 第3方面 労働基準監督官 前田 明彦 様より「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、以下のような講義をいただきました。

釧路管内の労働発生事故の事故型別で一番多かったのは、やはり転倒だった。

続いて動作の反動で、これは無理な姿勢で身体をひねったなどである。

ビルメン業界においては、器具用具を使用する機械が多いと思うが正しい着用方法と正しい使い方が重要となる。

また、実際の死亡事例の紹介による防止対策の説明や、事業所において労働災害が発生した際は、必ず所管の基準監督署への提出するようお話しがあった。

(3) 講演・・・中央労働災害防止協会 北海道安全衛生サービスセンターの講演は、道内4地区の内容を、安全衛生大会先頭ページに掲載しております。

釧路地区担当 専門役 安全管理士 橋本 秀利 様



開会挨拶 釧路地区協議会 臼井会長



主催者挨拶 道協会 水野副会長



講義 釧路労働基準監督署 前田監督官



講演 北海道安全衛生サービスセンター 橋本講師



労働安全衛生大会 参加者



閉会挨拶 釧路地区協議会 星野副会長

5 苫小牧地区大会

- (1) 10月11日（火）13：30～「苫小牧市民会館」にて10社31名が参加しました。

苫小牧地区協議会石川事務局長の司会進行で始まり、北海道協会副会長兼地区会長の水野光宏氏より今回の大会を契機に労災撲滅へ向けて各社とも更なる取組の実施をとの開会挨拶により開会しました。

講義・講演終了後、苫小牧地区輪島信男副会長より閉会挨拶があり、皆様の御協力のもと今回も有意義に終えることができ、これからも本大会を継続していきましょうとの挨拶で終了し、閉会しました。

- (2) 講義・・・苫小牧労働基準監督署 署長 十倉 正直 様より「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、以下のような講義をいただきました。

令和4年8月までのビルメンテナンス業の労災発生件数は北海道では前年に比べて横ばいだが、全国で増加傾向となっている。災害防止の観点から、①安全管理体制 高所作業の安全対策は、会社側で決めてもらい、現場の職長がきちんとやっているかを会社で確認をする。②経験年数1年から5年未満の人への安全教育 この辺りの経験を持つ人の事故が意外と多いので、集中的に安全教育を実施されたい。③高所作業にはフルハーネスの着用を 衛生対策としては、新型コロナウイルスも落ち着きを見せてきたが、ビルメンテナンス業では、病院、高齢者施設など、リスクが高いような場所で仕事をすることも多い。まだまだ予断を許さないので、引き続き対策をお願いしたい。特に以上の3点に留意いただきたい。その他ハラスメントの防止や時間外労働賃金の割増率の引き上げ、最低賃金の改定などご教授いただいた。

- (3) 講演・・・曾根労働安全コンサルタント事務所講師・曾根敬夫様にご講演いただきました。

ここ10年間の労災発生件数を見ると微増傾向となっている。原因として、労災事故の9割は人的要因に起因するものである。お金をかければ改善がみられる環境要因等に対して、人間の行動に伴うものには限界があり、劇的な変化はなかなか難しい。こうした人的要因をカバーし、減少させるには、誤った使い方をしても事故が起らないような仕組みを用意、仮にエラーが起きても、周囲に損害や危険を及ぼすことの無い設計をとることが必要である。不安全（危険）行動防止のポイントとして、知識不足を補う教育、技能不足を補う訓練、危険軽視を生まない組織風土・考え方への改善が大切となる。心理的要因として、人の記憶は、1時間で半分は忘れ、1日で3分の1になるが、長期記憶は31日経ても20%は残る。この20%に残るような話し方・教育が必要である。

生理的要因としては、疲労や睡眠不足、アルコール等があるので、日々の健康管理が重要となる。

組織的要因としては、チームの人間関係、リーダーシップ、チームワーク、コミュニケーションが大切である。例え軽微な危険であっても、見過ごさず、放置、黙認をさせない。

状況によっては大きな事故を招くと考え、それを現場にて共通認識として、当たり前のように発言できる環境作りをお願いしたい。



開会・主催者挨拶 苫小牧地区協議会会長・道協会副会長 水野 忠弘氏



進行 苫小牧地区協議会 石川事務局長



講義 苫小牧労働基準監督署 十倉署長



講演 曾根労働安全コンサルタント事務所 曾根講師



労働安全衛生大会 参加者



閉会挨拶 苫小牧地区協議会 輪島副会長



北見地区大会

- (1) 10月13日（木）13：30～「ホテル黒部」にて11社21名が参加して開催されました。
 本年も参加人数を絞り新型コロナ感染症の防止対策を十分に行った上での開催となりました。
 開催にあたり、北見地区協議会 宮武会長から開会挨拶、北海道ビルメンテナンス協会 島 典賢 労働安全衛生委員長より主催者挨拶をいただきました。その後、講義に入り北見労働基準監督署 長 新田 直幸 様より「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」ご講義を、曾根労働安全コンサルタント事務所 代表 曾根 敬夫 様より『安全第一から考える労働災害の防止』と題して講演をいただきました。
 最後に北見地区協議会小林副会長より、油断や慣れからの不注意行動が大きな事故になりうる場合もあるので、学んだことを他人事ではなく自分の事として、慎重に行動していこう、従業員に伝えていこうとの閉会挨拶があり大会は終了しました。
- (2) 講義・・・北見中央労働基準監督署 署長 新田 直幸 様より「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、以下のような講義をいただきました。
 令和3年北見地区の労災死亡事故については、全産業で5名の方が亡くなっている。休業4日以上の発生数は355件となった。その中で転倒災害については102件と30%を占める高い割合となっている。
 これらのデータは令和2年に比べると、ほぼ変わらず横ばいとなっている。
 北見地区の過去10年の推移として、発生件数は横ばいであり、転倒、墜落・転落が殆どである。その多くは経験年数に問わず、50・60代の方の割合が高くなっている。その他、労災減少に向けた様々な情報をご教授いただいた。
- (3) 講演・・・曾根労働安全コンサルタント事務所講師・曾根敬夫様よりご講演をいただきました。
 ここ10年間の労災発生件数を見ると微増傾向となっている。原因として、労災事故の9割は人的要因に起因するものである。お金をかければ改善がみられる環境要因等に対して、人間の行動に伴うものには限界があり、劇的な変化はなかなか難しい。こうした人的要因をカバーし、減少させるには、誤った使い方をしても事故が起こらないような仕組みを用意、仮にエラーが起きても、周囲に損害や危険を及ぼすことの無い設計をとることが必要である。不安全（危険）行動防止のポイントとして、知識不足を補う教育、技能不足を補う訓練、危険軽視を生まない組織風土・考え方への改善が大切となる。心理的要因として、人の記憶は、1時間で半分は忘れ、1日で3分の1になるが、長期記憶は31日経ても20%は残る。この20%に残るような話し方・教育が必要である。
 生理的要因としては、疲労や睡眠不足、アルコール等があるので、日々の健康管理が重要となる。
 組織的要因としては、チームの人間関係、リーダーシップ、チームワーク、コミュニケーションが大切である。例え軽微な危険であっても、見過ごさず、放置、黙認をさせない。
 状況によっては大きな事故を招くと考え、それを現場にて共通認識として、当たり前のように発言できる環境作りをお願いしたい。



開会挨拶 北見地区協議会 宮武会長



主催者挨拶 道協会 島労働安全衛生委員長



講義 北見労働基準監督署 新田署長



講演 曾根労働安全コンサルタント事務所 曾根講師



労働安全衛生大会 参加者



閉会挨拶 北見地区協議会 小林副会長

7 札幌地区大会

(1) 11月1日(火) 13:30～「ビルメンテナンス会館」にて15社23名が参加し開会。

山本秀也理事の司会進行で始まり、北海道協会水野光宏副会長の開会挨拶により開会しました。

講義・講演終了後、札幌地区田中芳章会長より閉会挨拶があり、講義・講話の内容を各社の安全衛生活動に積極的に活用いただき、災害撲滅に向け進めていきたいとし、閉会しました。

(2) 講義・・・札幌中央労働基準監督署 安全衛生課長山本真吾 様より「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、以下のような講義をいただきました。

労働災害で問われる企業の責任（刑事上の責任、行政上の責任、民事上の責任、補償上の責務、社会的な責任）があり、職場の「安全風土・安全文化」形成の3つの柱である①トップの姿勢、②管理者による実践、③職場自主活動の活性化の安全活動が重要である。「無災害に不思議な無災害はあるが、災害に不思議な災害はない」という話もあり、災害には必ずその原因とそれに至る問題が存在し、その問題には、見えないものもある。それを発見して、こつこつと対策を取っていく努力こそ「災害ゼロ」「危険ゼロ」に繋がる。北海道の災害発生状況を見ると、令和2年の死亡事例は51件と過去最低を記録したが、人口に比べると、死亡事故の発生率が高い。その原因は、強いというならば冬の凍結路面である。ビルメンテナンス業では、過去10年間で6名が死亡したが、そのうち4件が墜落・転倒により、転倒によるものも1件あるので、これからの季節、十分に注意してほしい。

その他、高年齢従業員の健康管理や実際の労働災害事例のご紹介などいただいた。

(3) 講演・・・中央労働災害防止協会 北海道安全衛生サービスセンターの講演は、道内4地区の内容を、安全衛生大会先頭ページに掲載しております。

札幌地区担当 専門役 安全管理士 橋本 秀利 様



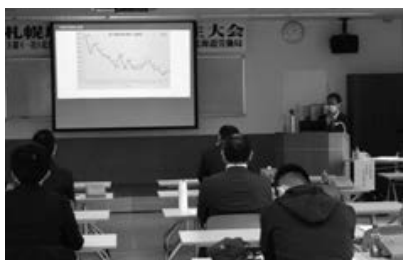
主催者挨拶 道協会 水野副会長



進行 札幌地区協議会 山本理事



労働安全衛生大会 参加者



講義 札幌中央労働基準監督署 山本安全衛生課長



講演 北海道安全衛生サービスセンター 橋本講師



閉会挨拶 札幌地区協議会 田中会長



旭川地区大会

- (1) 11月8日(火) 13:30～「北洋ホール」にて16社45名が参加し、佐々木事務局長の司会進行で始まり、旭川地区山中智雄会長の開会挨拶、北海道協会岡田知己会長の主催者挨拶があり開会しました。

講義・講話終了後、旭川地区山田知央副会長の閉会挨拶では、労働災害撲滅を誓い労働安全大会を閉会しました。

- (2) 講義・・・旭川労働基準監督署安全衛生課地方産業安全専門官 小野吉男様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止研修」と題して、以下の諸点を教示されました。

北海道の労働災害の労働災害発生状況を見ると、ここ5年間は6,000～8,000件発生しているが、ビルメンテナンス業は178～218件と全産業の2～3%程度で、死亡災害も5年間に5件発生したのみ。旭川労働基準監督署管内における労働災害も同様で、管内全体で年間500～600件のうちビルメンテナンス業の労災は、毎年10数件と全労災事故の2～3%であったが、昨年は22件と前年から倍増した。特に転倒災害が多く、中には死亡例もある。これからの季節、どこでも起こり得るので注意を願いたい。また、死亡事故になり易いのが、墜落・転落である。30m、40mとなれば、高くて気をつけるが、5m、6mだと大丈夫と思ってしまいが、1.2mの高さからの転落で死亡した例もある。「1メートルあれば一命取る^{いちめいとる}」とも言っているので、十分認識されたい。

- (3) 講演・・・中央労働災害防止協会 北海道安全衛生サービスセンターの講演は、道内4地区の内容を、安全衛生大会先頭ページに掲載しております。

旭川地区担当 審議役 安全管理士 衛生管理士 吉村 直紀 様



閉会挨拶 旭川地区協議会 山中会長



主催者挨拶 道協会 岡田会長



講義 旭川労働基準監督署 小野地方産業安全専門官



講演 北海道安全衛生サービスセンター 吉村講師



労働安全衛生大会 参加者



閉会挨拶 旭川地区協議会 山田副会長

「ヒヤリ・ハットに対する心構え」

北海道クリーン・システム株式会社 平 川 千 帆

私は現在、札幌駅に直結している大型複合商業施設のＪＲタワーで働いており、『Ｔコメット』という愛称で呼ばれています。Ｔコメットの業務は、お困りのお客様へお声掛けや館内の清掃、施設の不具合を報告するなど、お客様が快適に買い物を楽しむ手助けを行っています。私達Ｔコメットは普段、ダストパン（ちり取り）とブルーム（箒）をセットにして巡回を行い、様々な事柄に目を配りながら業務に従事しています。それ故に、お客様やショップの商品、館内のディスプレイなどとの接触事故と常に隣り合わせです。その中でダスタークロス掛けを行っている際に、私が体験したヒヤリ・ハットと改善について紹介します。

私達は普段、角を曲がる際は、お客様が角の内側を最短距離で曲がってくる事を想定して、外側を曲がる『アウト歩行』を行います。その為、お客様が急に飛び出してきたとしても、接触や衝突から免れることができます。ですが、ダスタークロス掛けの場合は、通路の端を壁に沿うようにして除塵を行う為、アウト歩行ができません。また、ダスタークロスのヘッドの長さは約65cmあり、私の肩幅よりも広い為、無理に外側から曲がろうとすると、かえってお客様の足に引っ掛けてしまう危険性があります。その為、Ｔコメットでは角を曲がる手前で、壁側にヘッドの部分の部分を平行につけ、上半身をやや傾け、角を曲がった先にお客様がいないかを確認してから、歩き出すように統一しています。しかし、お急ぎのお客様やベビーカーを押したお客様、荷物を台車で運搬する業者の方が角を曲がってきた際は、角近くで待機すると危険な場合があります。

私がダスタークロス掛けを行っていた際、角に差し掛かった為一旦止まり、死角の先を確認しようとした瞬間、ベビーカーを押したお急ぎのお客様が、角から飛び出してきたのです。急いで、自身の身体を引いた為、接触せずに済みました。もし、気付くのが遅れていたら、お子

様にも接触していた可能性があり、血の気が引きました。ＪＲタワーは、ＪＲ・地下鉄・バスの公共交通機関へのアクセスの中心ということもあり、上記の体験に似たヒヤリ・ハットは、意識しながら巡回をしていても、幾度となく遭遇します。

このような体験に対し、どのように対処すれば危険を察知できるのかを考え、二つの対処法を実践しました。

一つ目は、曲がり角の先を確認する前に「いらっしゃいませ」と死角にいるお客様に聞こえる様に、大きな声と明るいトーンで発声し、自身の存在をお客様へアピールすることです。お話に夢中になっているお客様にも効果があり、曲がり角でスピードを落として頂けることが多くなりました。また私達だけではなく、周囲にいらっしゃるお客様同士の接触や衝突の防止も期待できます。

二つ目は、車の運転と同様に聴覚と視覚を研ぎ澄ますことです。お客様から発せられる声や足音の確認、壁や床に映る影の動きなどから情報を得ます。特に帰宅ラッシュの時間帯は沢山のお客様が行き来する為、通行の妨げにならないように、予め角から離れることにより、早い段階で危険を回避することができます。また、左右だけではなく後方も怠らず確認することにより、追い越そうとされるお客様にも注意することができます。

以上の二点を踏まえ、常に角の先には、お客様がいるものだ意識をすることにより、ダスタークロスだけではなく、日常起こり得る危険を回避しています。

最後に、ＪＲタワーは今年から大きく姿を変えようとしています。ＪＲタワーと共に私達も大きく成長する為に、より良いサービスの提供を心掛け、お客様が安心してご利用いただけるよう、笑顔とおもてなしの心を忘れずに日々邁進して参ります。

労働災害から人をまもるために

北海道クリーン・システム株式会社 樋 渡 宗 之

機械化や自動化などの技術が進歩する現在でも人が主体となる業種は多くあります。労働災害は人が携わる上で常に隣り合わせとなるもののため、どのような対策が必要かを普段から意識することが重要です。私は北海道新幹線のグランクラス車両へ荷物の積み降ろしを主に行っており、その中から自身の体験をもとに労働災害が発生する要因として人が関係するものについて考えていきます。

私たちが関係する業務は前述のとおり人が主体となっていて行われるものが多いので、安全や労働災害について日々共有され注意喚起が行われていることと思います。まずは日ごろ見慣れているものに対する不注意によって発生してしまう事象についてです。私たちの箇所は作業にあたる場所では小さな段差や階段が多くあります。作業用具を持って通る、台車を押した状態で乗り越えるなど、ごく当たり前に行っていることではありますが躓きや転倒の危険性があるのはもちろんのことです。しかし、日々の業務で通る場所であっても荷物で視界が悪く段差が見えていなかった、忘れて躓いてしまったという事象が発生しています。幸いにも何事もなく済みましたが転倒して怪我をする危険性を考え、再度注意喚起を行った上で階段付近や段差が目立つ場所についてトラテープを貼り付け、躓きや段差注意を促すピクトグラムを利用し対策をしています。

次に周囲からの影響で発生するものについて、普段から気を付けていても対策が難しい場合です。身近なものでは死角がある見通しの悪い場所や扉を出入りするときの出会い頭などがあります。私たちが新幹線に積み込む荷物はサービス品を搭載しているカートと備品を載せた台車が主になりますが、これらを運ぶとき乗り換え改札と売店、エスカレーターの前を通過する必要があります。売店周辺はかなり見通しの悪い死角となっており、利用者が飛び出してくる可能性も高く特に注意が必要な場所になり

ます。このような場所では出会い頭による衝突の危険性が重要視されますが、労働災害の視点から考えた場合は回避行動による危険性が出てきます。考えられるものとしては急ブレーキを掛けたときに膝を痛める、足を捻ってしまうなどの可能性があげられます。死角からの飛び出しのような突然発生するものについては物理的な対策が難しいため、日々の危険予知として死角を通るときは徐行や一時停止をして前方をしっかりと確認するよう作業者同士で共有しています。

そしてコミュニケーションについて。労働災害の発生は同じ作業を行う場合でも、各々で手順が違ふときや手を抜いてしまうことが原因の場合があります。基本として定められた手順とは別の作業をしている人が居た場合には、そのことを伝え基本通りに直してもらうことが重要です。意思疎通が取れていない場合は「あの人のことが嫌いだから言うことを無視しよう」「私のほうが正しいことをしているからこのままでいい」という考え方が出てきてしまいます。このような考えが見受けられるときは意見交換を行い、気軽に相談できる環境を作っていくことが必要になります。その上で基本について再度周知を行い理解してもらうことで、コミュニケーション不足による労働災害の芽を摘み取ることができると考えます。

労働災害を防ぐためには個人が意識することと日々の情報共有や注意喚起が重要となりますが、そのベースとなるものはコミュニケーションであると考えます。自身が段差や死角を危険と感じたとき、意思疎通が取れていれば速やかに伝達し共有することができます。そうでなければ報連相が途切れ、伝えるべき事柄が周知されず事故につながる可能性が増えてしまいます。私はこのようなことを避けるため積極的にコミュニケーションを取り業務にあたるよう心掛けていきます。

銅賞

「労働災害防止対策への私の考え」

北海道クリーン・システム株式会社 川 角 光 輝

私は現在、ＪＲ北海道が、その用途を終えた車両の解体業務の監督業務に就いており、主な勤務地はＪＲ北海道の現場で札幌の苗穂工場、函館の五稜郭車両所、釧路の釧路運輸車両所で、協力会社によって車両解体及び解体後の石綿含有塗料の除去をおこなっており、品質の良い作業が安全に行われるよう管理監督することが主な業務となっております。

車両解体工事及び石綿含有品の除去工事は、労働災害になる危険と常に隣りあわせの作業です。過去には労働災害も発生しており、それはなぜ起きてしまったのかを私なりに考えてみました。

１点目は、冒頭にある通り作業の手順を守らないで作業を行っている点だと思います。最初は手順を守って作業していたとしても、月日が流れていくにつれて、作業手順を飛ばしてしまう点だと思いました。

２点目は、「自分は怪我をしないから大丈夫だろう」と思い、手順に従わず自分の感覚で作業してしまうところだと思います。例えば気温が高い日などは熱中症などにならないように作業しますが、気温の暑さゆえ、つい気が緩んでしまい安全に作業をすることをせず自分の感覚で短絡的に作業してしまい、労働災害を発生させてしまう危険性を高くしてしまう点だと思います。

３点目は作業中「このようにしなければならない」と決められている事柄をしっかりと行わないことだと思います。車両解体時に車両の乗降ドアから降りる時には、手すりをしっかりと持って乗降するように決められているのですが、その手すりを使わずに飛び降りたりすることがあるからです。まだ車両の乗り降りでの労働災害は発生していないものの、怪我をする可能性がないとは言いきれません。決められたことはしっかりと守らなければならないと思いました。

ではこれら３点について、どのように対策を

取るべきなのか、自分なりに何点か考えてみました。

１点目は、作業手順は必ず守ることです。作業手順はこれまでその作業に携わってきた多くの先輩作業者の皆さんが色々な失敗や経験からより安全に作業できる手順として組み立ててきたものです。当たり前のことですが、ひとりひとりが、「手順を守ることによって安全に作業できるのだ」という意識を持って頂いて作業に取り組んで頂くことで、少しでも労働災害が減っていくと思いました。

２点目は、自分だけは大丈夫だという意識を捨てることです。「怪我の芽はいつもそばに、そしてどこにでもあるのだ」という思いをもって自分だけは大丈夫という意識を払拭することが重要だと思います。

３点目は「安全に関する勉強会をする」ことだと思います。なぜならば、そもそも、決められていることを知ることが必要だと思います。決めごとを守らないことの背景には、一部知識不足もあるのではないかと考えました。現在は年１回の安全会議を行って、過去の振り返りなど、様々な事柄を互いに理解しあうのですが、コロナの影響もあり大規模では実施できておりません。参加者が次々に伝えていくことで、補完していますが、コロナが収まってきたときには、実作業に携わる多くの作業者が同じ内容を同じ場所で理解できるよう「安全会議」を充実させていくべきだと思います。

車両解体工事や石綿含有塗料の除去工事では、作業工程の予定通りに進まないことが頻繁に発生します。作業者としては焦ってしまう場面もあり、そのような状況を見ることもありますが、安全に関する意識を再確認して焦らず、急がず常日頃から協力会社の皆さんに伝えて、オーナー様の求める、「安全で品質の良い作業」がこの先も続いていけるよう微力ながら日々の監督業務に邁進していく所存です。

『重大事故と贖い（あがない）の日々』

株式会社クリーン開発 田村久志

災害は忘れた頃にやって来る。この言葉は誰もが、一度聞いたことのある名言です。

労災、つまり労働中に発生する事故災害、これもまた、忘れた頃惹起するのではないだろうか。つまり緊張の継続が一時途切れる等油断による過失、つまり不注意である。

学者の言葉に緊張感の継続できる状態は、普通の人で、約15分位だそうである。車の運転が特にその一例である。

従って緊張感を長い時間継続することは大変難しく困難なことが判ります。その為には何をすればそれを補うことができるのか。

私は一つ提案したいことがあります。緊張感が徐々に薄れることは、注意が散漫になることであり、その遠因には例えば時間が無いので急いでいる、出発が何かの原因で遅れた、等の焦りから事故に繋がるわけです。又径路を熟知していない、行先が明確でない、仕事の内容を十分理解していない、等を考え乍ら仕事に従事したら、当然事故が惹起しても不思議ではないと考えます。

学者が重大事故を起こす以前に数百、数千の遠因、誘因が既に発生していることを指摘しています。然し乍ら本人はその事を殆んど気付かないか、又は蔑ろにして改善しようと努力しようとしなのが、現状なのです。

例えば、車の事故一つを考えてみれば良く判るように、近頃車の数の多いのには大変驚きますが一家に一台の時代はとうに過ぎ去り一人一台の時代です。車両での死亡事故は30%はスピードの出し過ぎと言われています。だとしたら一般労働等での事故は30%の緊張や集中力等の欠如によるものなのか。メンタルトレーニングもせず、ただ漫然と仕事に従事しているのが現状なのでしょう。

最近では、草刈作業中に飛石で車輛を傷つけたり、怪我を負わせたりする事故を耳にしますが、考えてみればある程度改善できる余地はあると思うわけです。

一人で仕事に従事している場合を除いては数人で作業をしている場合、当該グループの長、或いは同僚がケアすれば多少防ぐことは可能であることは皆承知のことですが、それが意外に欠如しているのが現状なのです。

一言声をかければ防げる場合もあるのではないかと。例えば、草刈をする場合膨大な敷地は別として、予め刈る範囲の地面の状態について点検をして確認する。勿論全員で細部について十分把握することにより、皆が承知できるわけで、石が散見されれば、取り除き、溝や障害物があれば表示をする、危険な箇所については、明示するか全員に熟知させる。それらを怠ることが、ケアレスであり事故発生の遠因、原因を惹起させるのではないのでしょうか。確かに定められた時間内に作業を終わらせると言う、ノルマが課せられた以上、どうしてもおろそかに成る部分は多少あることは否定はできませんが、然し、当該安全に又は点検に取られる時間により、実質作業時間が短縮されたことで、作業が雑に成ったり、急ぐことにより別な不安全要素が惹起するようでは、なんの為の安全点検なのかが、理解できなくなる。

つまり、安全が第一で作業を終了させるには、十分な時間と余裕が不可欠なのである。

一旦事故が発生し、原因、動機、事故対策、人傷等に費やす時間や経費等を考えれば、本来一日で終る作業が二日に伸びても大した損失にはならないのではないのでしょうか。

下手をすれば、当該作業が滞ることもありえるし、失墜することだってありえる問題だと考えます。

先ずグループで作業をする場合、一人一人に責任の所在をはっきりさせることが、特に重要だと考えます。責任を意識せず作業に従事した場合、必ず不安定要素が顕著に現れるものです。これこそが絶対になくさなければならぬわけです。従って安全を疎かにすると、贖う日々が待っている事を忘れずに！

労働災害防止について

株式会社キタデン 松岡孝浩

「安全第一」という言葉を、多くの方が耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

どんなにいい仕事や、目的を達成しても、労働災害が起きれば、その成果は、ないに等しいものです。本人はもとより、家族、関係者、会社など、得をすることは何もないと思います。今回この論文を書くにあたり、労働災害について、自分への注意喚起も含め、事故事例と対策を学び、労働災害防止に努めてまいりたいと思います。

労働災害は、労働災害安全法に定められています。簡単に言えば、労働者が仕事に就いている時に事故にあったり、けがをしたり、病気になったりすることです。労働災害は、なぜ起きるのでしょうか？すこし考えてみました。たとえば、基本的な事を実施しなかった。慣れによる作業のマンネリ化。知識の不足によるもの。思い込みによるもの。

その日の心身の状態によるもの。作業の効率化を重視し、安全対策を二の次にした事。などがあると考えられます。対策としては、作業実施前の健康状態を把握する。予想される危険を考え、対策を講じる事が必要であると思います。また、人間は機械ではないためヒューマンエラーという事もあります。これを防止するために、例えば低圧電路の絶縁抵抗の測定を例にあげると、確実にブレーカは「切」にしているか。実施したつもりや思い込みを点検確認するためにも、二人で作業を実施し、作業に誤りがないかを確認する。そして誤りがあればそれを正す。作業を実施しながら、ブレーカ「切よし」と声を出すことも必要であると思います。

それでは、事故事例について調べました
身近な用具である、脚立の事故は、転落の危険を感じず、使用する人が多いようです。

脚立の上でバランスを崩し転落した。脚立を壁に立てかけて上がり、脚立の足が滑り転落した。開き止め金具のロックが不十分であり手を

挟んだ。骨折、捻挫、打撲、靱帯損傷、脳しんとうなど、多くの負傷例があるようです。対策としては、脚立の天板には上がらない。一人で作業せず、正しく脚立を使用する。あせらず、あわてず、安全意識をもち、作業を実施することが、重要であると思います。

次に感電事故について調べてみました。感電事故は、7月から9月に多いようです。これは、暑いために汗をかく。皮膚の露出。注意力の散漫。雨の日の活線作業。絶縁性の工具を使用しなかった。貫通ドライバー使用によるもの。思い込みや勘違い。ヒューマンエラーによるものもあります。対策としては、安全確実な作業を実施するのはもちろんですが、濡れた手で電気器具を扱わない。暑い時期の汗にも注意を向ける。皮膚の露出を少なくする。絶縁性の工具や手袋を使用する。

また、自分の身は自分で守る心構えも大切であると思います。

労働災害は注意しても起こる事も予想されます。ハインリッヒの法則に学ぶと。1件の重大事故の背後には、重大事故に至らなかった29件の小さな事故が隠れており、さらにその背後には、事故寸前の300件の異常が隠れている。1：29：300の法則とも言われています。つまり、労働災害を防止するためには、安全意識を持ち、安全確実な作業を実施する。日頃からの不注意、不安全な行動や小さなミスを防ぐ。また、風通しの良い職場の環境や心身の健康にも留意する。ヒヤリハットの事故事例を他山の石とすることも大切であると思います。

さて、私達は日々仕事をしています。

朝「おはようございます」と挨拶をして、「今日も無事故だ」笑顔で帰宅する。

このあたり前の事を大切にして、「労働災害ゼロ」をめざして、仕事に取り組んでまいりたいと思います。

令和4年度 労働災害防止標語 入賞者

金賞

高めよう 一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害

(株)クリーン開発

長谷川

勤

銀賞

急がず 慌てず 無理をせず ゆとりを持って安全作業

北海道クリーン・システム(株)

毛 内 智 子

怖いのは 覚えた時より 慣れた時

(株)東洋実業

島 崎 正 子

銅賞

焦らず慌てず油断せず 初心に戻り安全確認

北海道クリーン・システム(株)

村 上 麻 実

焦るな、急ぐな、手を抜くな、基本の心で安全作業

北海道クリーン・システム(株)

伊 藤 則 芳

危険箇所 みんなで共有 ゼロ災害！

東京美装北海道(株)

佐 藤 晃

佳作

あいさつはこころを込めて自分から 笑顔をつなぐ合言葉

オホーツク美装興業(株)

島 田 祐 輔

焦るほど 増える失敗 無くなる信用！

(株)東洋実業

中 野 須美子

あわてず 焦らず 慎重に 踏み出す一步を 確実に

北海道クリーン・システム(株)

野 呂 良 一

確認は 人に頼らず 手を抜かず

テルウェル東日本(株)北海道支店

山 本 弘 子

「かもしれない」 予測と準備が 身を守る

(株)東洋実業

大 塚 優 樹

共感と共有 失敗から学ぶ チームづくり

(株)東洋実業

菊 田 直 樹

誰でも持ってる事故の種 心の中にハザードマップ

(株)東洋実業

山 崎 千鶴子

ルールを守って しっかり確認 徹底させよう 作業基準

(株)東洋実業

早 川 慶 二

忘れるな！慣れと手抜きが事故のもと

北菱産業埠頭(株)

見 瀬 順 一



各地区協トピックス

札幌

●広島工大・杉田 洋教授の講演会（札幌市との情報交換会を兼ねて）



清掃ロボット研究の第一人者、広島工業大学の杉田 洋教授をお招きして、「ロボット清掃の未来」と題して、ご講演を

いただきました。会場には、会員企業10社23名のほか、札幌市役所の財政局管財部からは係長さんお2人もお招きをし、皆さん熱心に聞き入っていました。杉田先生から、

①ファシリティ・マネジメントの手法により、品質、財務、供給の3者のバランスを取りながら、建物の管理が適切に行われているかを評価して、長年に亘ってコントロールしていくことが大切である。

②人と清掃ロボットの守備範囲は、難しいところは人の手で、簡単なところはロボット化だとコスト高になるので、その中間領域となる。

③これからの清掃業務の発注は、家を建てる時

のように、発注者が専門家に設計と監理をお願いして、その専門家の知見に基づいて仕様書を作って発注・監理し、受注者はその仕様書から具体的な作業の提案をするという手法が求められる。

というようなお話がありました。

講演会の終わりには質問コーナーもあり、清掃ロボットの値段やGPSの活用などについての質問も出て、杉田先生から丁寧なお答えがありました。

杉田先生のお人柄もあって、講演は終始なごやかな雰囲気が進められ、分かりやすい軽やかな解説に、会場は和らいだムードに包まれていました。

杉田先生には、心から感謝を申し上げます。



●札幌市内3か所の児童養護施設へのボランティア清掃

平成22年度から毎年9月に実施していた市内の児童養護施設へのボランティア清掃を、今年は10月7日（金）に実施しました。昨年は新型コロナウイルスのまん延による緊急事態宣言が出されていたため中止し、代わりに各施設に商品券を寄付しましたが、今年は実施に漕ぎつけることができました。なお、市内5施設のうち、札幌南藻園、羊ヶ丘養護園は建物改修等により、それぞれ辞退され、3施設での実施となりました。

当日は晴天にも恵まれ、合計16社57名の作業員が、自慢の技術でそれぞれの担当施設の床のポリッシャー清掃や窓ガラスの清掃に精を出しました。急遽辞退となった羊ヶ丘養護園の担当メンバーを他の施設に振り替えたこともあって、予定よりも早く清掃作業を終え、お陰様で、1件の事故もなく作業を終えることができました。これも、各施設の職員の皆様のご協力と従

事された会員企業の社員の皆様のご尽力の賜物と、心から感謝申し上げます。

その後、施設からは、お礼の手紙もいただき、「子ども達も綺麗になった床やピカピカになった床を見て、皆口々に喜び、感動の声を上げておりました。」との記述もあって、実施して良かったなあとしみじみ感じ入ったところです。

今後とも、この事業を通じて、子ども達が健全に育っていく環境を整えるお手伝いをしたいと考えています。



●札幌地区協議会と秋元市長を囲む会



12/13ニューオータニ札幌において秋元市長を囲む会を開催いたしました。秋元市長からは除雪体制の話から、新型コロナウイルスの状況や経済・観光の状況の話をされ、その後で、札幌冬季オリンピック・パラリンピック2030の誘致状況の

説明をされました。特に、当初、元理事個人の贈収賄の問題だったが、プレ大会の問題に及び、組織的な汚職問題となったことで、IOCも開催地決定時期を1年延期し、状況を見守っていること、今後東京大会の改善策が打ち出されないと状況が厳しくなったことなどを説明されました。また、大会経費が民間資金によるとこ

ろが大きいなど、経済的な負担も少ないことを強調されていた。当日午前中に、札幌市の管財部に対して行った物価スライドの要望にも触れられ、環境面での協力のお願ひもされました。田中会長から、

- ① 契約時の総合評価に給与を条件にしないでほしい、
- ② 業務委託契約にも、最低制限価格を設けてほしい、
- ③ 少額業務に集中しないよう、制限を設けてほしいとの要望を伝えました。

最後に宮嶋副会長から、オリンピックにより、当業界も潤うので歓迎したい旨と、お身体にご注意されたいとの閉会挨拶があり終了いたしました。



●札幌地区労働安全講習会開催

令和4年11月2日ビルメンテナンス会館において、労働安全講習会を開催しました。

講師に、さとう安全コンサルタント代表佐藤尚武様をお迎えして、会員10名の参加により、「危険予知訓練（KYT）研修」と題して行われました。

グループワークを用いた研修方式で、受講された皆様全てが積極的に発言を行う形で進められました。全員での指さし呼称を行い、続いて二班に分かれ、整列、円陣を組んで一人一人の1分スピーチ、健康チェック、服装確認、安全唱和等、ツールボックスミーティングの手法を実演。

一人一人が徐々に発言し易い環境ができ、その後のKYT訓練では、それぞれの意見を積極的に交換してまとめていきました。

イラストを使って危険要因を洗



い出すワークでは、同じイラストから各社、各現場の様々な職場環境を基に、それぞれの視点から、危険因子が見つけれ、原因、対策を参加者全員が率先して考えました。他者の意見を聞くことにより、自分では思いつかなかったことや、気づかなかったことに気づかされ、チームとして労働安全に取り組む手法を習得することができたと思います。

この研修会は、現場リーダー及び候補者等が安全職場を構築するために大変役に立ち、実践的な研修を通じてリスク察知及び回避、更にコミュニケーション等のスキルが向上すると好評を得ております。

令和4年7月8日にアートホテル旭川において、旭川地区協議会会員企業19社35名非会員企業6社9名、メーカー2社2名総勢46名が出席し開催されました。

山中智雄旭川地区協議会会長挨拶の後、Zoom等による講話を戴きました。

◇シックスガード施工サービス

(シーバイエス(株)) Zoom

◇フロアーコーティングの活用

(株)リンレイ Zoom

◇新製品『光触媒消臭剤の紹介

(ユシロ化学工業(株)) Zoom

◇コーティングで実現する清掃省力化と衛生管理

(株)ソフト99コーポレーション Zoom

◇ナノティクシステムの導入事例(株)広立総業)

今回につきましては、新しくZoomによる、

清掃に係る施工等作業の説明、新規商品の紹介等の説明があり、出席者皆熱心に聞き入っていました。研修会終了後、懇親会が行われ、乾杯の発声を山田春雄名誉会長で宴が始まりました。旭川も連日の真夏日により猛暑で、出席者はビールでカラカラな喉を潤しておりました。結びは、中旭川地区協議会副会長の三本締めで、業界のさらなる発展を祈念して幕を閉じました。短い時間でありましたが見識・親睦を深める有意義なひと時でありました。



●第26回ビルクリーニング安全技能大会開催

令和4年10月28日にポリテクセンター旭川にて、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を徹底して開催されました。各選手真剣な眼差しで、日頃より培った技術を存分に発揮していました。

◆成績結果

- ・金賞 極東警備保障(株)
松田拓大選手

- ・銀賞 (株)東洋実業旭川営業所
赤塚広平選手
- ・銅賞 (株)広立総業
若林雅之選手



釧路

●北海道釧路鶴野支援学校の清掃講習

毎年継続で行われている鶴野支援学校の清掃講習が令和4年度も5/10から始まり、計13回に渡って開催しております。

釧路地区協議会は校内の技能大会にも運営として参加をしており、技能アドバイスや練習のサポートなどを行っています。また、アビリンピック北海道大会の大会運営や競技審査員派遣など関わっております。

生徒たちの頑張りに良い刺激をいただきながら、これからも将来のビルメンを目指す方々の為、活動を続けていきます。



●清掃奉仕活動

釧路地区の各所において、清掃奉仕活動を行いました。

【釧路市内】

『桜ヶ岡保育園』『新富士保育園』『鳥取保育園』『芦野保育園』『音別認定こども園』『東部子育て支援拠点センター』『西部子育て支援拠点センター』

新型コロナ感染が拡大している状況を鑑みて外部面ガラス清掃のみ13社40名で実施しました。

作業終了後は、園児の皆さんからお遊戯の披

露などもあり、会員の皆さんもご自分の孫を応援するような気持ちで感動しておりました。



【中標津地区】

『丸山公園殉公者碑』『中標津空港 尾崎豊之像』
『中標津町役場 賛太陽像』『東7条公園 乾定
太郎翁之碑』

参加をいただき、石碑清掃
を行いました。

釧路地区協議会（中標津地区）の清掃奉仕
活動として会員企業から天候の悪い中12名の



『別海町立上風連へきち保育園』

保育園の清掃は、通常女性職員の手で行われて
いるため、どうしても高所のガラス清掃作業
ができず毎年各園では、私たちの作業を心待ち
にしております。作業終了後には、園長先生よ

り、普段の清掃では行えない高所等のガラス・
サッシ清掃を行ってもらえて助かりました、と
笑顔で言っていました。今回の作業も事
故無く無事に終了することができました。



【標津地区】

『標津霊園トイレ』『川北霊園トイレ』



【根室内】

『根室市立こまば保育所』



十勝 ●ビルメン・警備業合同ゴルフ・パークゴルフの開催

北海道警備業協会帯広支部との合同により、7月14日（木）にゴルフ・パークゴルフコンペが開催されました。

ゴルフは帯広白樺カントリークラブにて午前9時30分より14名が参加し、パークゴルフは十勝川公園パークゴルフ場にて午後12時30分

より21名が参加して行われました。

（本年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ビール会・表彰式は中止）



苫小牧 ●清掃奉仕活動

苫小牧地区の各所において、清掃奉仕活動を行いました。

『ふるさと海岸』

7/4当日は小雨の降る中、会員10社25名が参加し、水野会長の挨拶の後、作業開始となりました。

内容はシンプルにゴミを拾うことですが、

ペットボトルや空き缶、たばこ、生活ゴミなどいろいろなゴミがありました。

各自協力しあいながらゴミ袋とトングを片手に「燃えるゴミ」と「燃えないゴミ」に分けて収集作業を行い、無事に終了することができました。



『勇武津資料館及び蝦夷地開拓移住隊士の墓』



8/19当日は、晴天にめぐまれ、会員10社、29名が参加し、水野会長の挨拶の後、館長の藤原様から感

謝の言葉を頂き、作業開始となりました。

平成21年から始めさせてもらっている清掃活動も今年で13回目となり、今年も、例年通り高圧洗浄機を使用し「資料館」「移住隊士の墓」「地蔵堂」の各持ち場に分かれ、参加者全員が協力しあいながら、日々の訓練で培った高い技術を生かし完成度の高い清掃作業となり、安全第一を心がけ今年も無事に終了することができました。



●親睦パークゴルフ大会

7/16「オートリゾート苫小牧アルテン」において開催されました。前日からの雨の影響により芝状態が悪く今年度は残念ながらプレーなしのくじ引きによる景品の授与のみの開催となりました。今回も新型コロナウイルスの影響を考慮して通常よりも参加人数を減らし、会員10社より22名が参加。開会式では、水野地区

協会長より「今回は新型コロナウイルスの影響で久しぶりの開催ではありましたが、あいにくの雨により皆さんが楽しみにしているプレーは残念ながらありませんが、豪華景品を用意していますので最後まで楽しんで下さい。」と挨拶があり、スタートとなりました。

参加者全員で記念撮影後、くじ引きにより豪華商品が授与され、参加者一同、親睦を深め楽しく有意義な一日となりました。



● 苫小牧市・苫小牧地区BM協議会 意見交換会

8/22苫小牧市役所にて、苫小牧市財政部契約課と、ビルメンテナンス業における主に入札制度に関する内容に関して、意見交換会を行いました。

苫小牧市財政部契約課より、課長 鍛冶貴宏様、主査 吉田和人様、主任主事 藤原亜由果様、当会顧問 議会議員 矢嶋翼様、地区協議会より水野会長、輪島副会長、石川事務局長、阿部会計、下谷内広報の参加がありました。

昨今、人手不足が深刻化する中、毎年のように最低賃金が引き上げられ、今後の見通しが立



たないことから「積算基準に基づく予算の確保または予算に合わせた仕様内容への変更」に関して要望していましたが、このたび来年度の予算参考見積りから建築保全業務積算基準に則っ

た積算基準の仕様変更と適正な予算確保を実施するというご報告を苫小牧市財政部財政課より頂きました。



また、知事登録されていない業者の入札参加禁止や、ダンピング防止のための最低制限価格の引き上げ等について、最低制限価格の制度化により率の見直しを前向きに検討して頂ける旨の回答を頂きました。

その他、入札における業者選定について参加・履行要件の厳格な確認と履行検査等の実施や施設の変化（老朽化等）による予算の変更や仕様を見直すことによって施設の特性に合わせた対価での提案ができるメリット等、色々な議論が活発に交わされました。

上述のとおり、今回、以前から苫小牧市に要望していた案件に対して苫小牧市から要望どおりに実現することを決定した旨の回答を頂いたことは大きな前進となり今後につながる有意義な会となりました。

● 室蘭・苫小牧合同ゴルフコンペ

10/6「エミナゴルフクラブ」にてビルメン・警備合同による室蘭・苫小牧の親睦ゴルフコンペが開催されました。

苫小牧地区協議会輪島副会長の挨拶に始ま



り、石川事務局長のルール説明のあと、参加者10名が3組に分かれてスタートしました。

天候にも恵まれ晴天のもと、各個人が優勝を目指し、ハイレベルな戦いとなり楽しくプレーができたようです。

●ボランティア活動

【函館市土木部主催：大森浜環境美化活動】
『湯川漁港の砂浜ゴミ拾い』



7/2の当日は、新型コロナの影響により2年間中止した奉仕活動の再開に向け、成田会長



から参加者へお礼の挨拶と、金澤奉仕活動委員より注射器の漂着物等の扱いについての注意事項の説明があり、時折小雨が降る中、11社計36名という多くの方にご参加いただきました。

また、ビルメンテナンス業界のアピールとして函館地区協議会で作ったお揃いのベストを着て今年も活動にあたり、この環境美化活動を通してより良い業界イメージを届け、少しでも社会貢献の一握を担っていければと思っております。

●函館地区協議会ゴルフコンペ

7/22新型コロナ対策を徹底し、今年度2回目となるゴルフコンペが北海道カントリークラブで行われました。当日は雨予報ではありましたが、曇りで一時的な霧雨が降った程度でプレーへの影響はなく、協会員・賛助会員あわせて9社9名が



参加して頂きました。

北海道カントリークラブは、函館市内からも近く、

大自然を感じながらラウンドできるゴルフ場です。参加者9名は3組に分かれてスタートし、怪我なく楽しいゴルフが出来ました。優勝は北海道クリーン開発の坂本支社長、準優勝はペンギンワックスの沼崎マネージャーでした。今後も新型コロナ対策をしつつ、感染拡大防止に努め可能な限りゴルフコンペ以外の活動も実施していきたいと思います。



新 会 員 紹 介

正 会 員 [入 会 月] 2022年10月
[所 属 地 区] 十勝地区協議会
[社 名] 北勝ビル管財株式会社
[協会届出代表者] 水上 亮太
[住 所] 〒080-0311 北海道河東郡音更町南鈴蘭北3丁目6番地7
TEL : 0155-67-0390 FAX : 0155-67-0391

10月より、北海道ビルメンテナンス協会に入会させていただきました、北勝ビル管財株式会社と申します。弊社は昭和60年5月有限会社北勝美興として設立し、主として官公庁を中心にビルメンテナンス業を営んでまいりました。安全・安心を提供し、社会に貢献する企業として、業界発展に微力ながら尽力してまいりますので、何卒宜しくお願い致します。

2022年10月 採用職員紹介

[氏 名] 事務局員 溝口 恵 (みぞぐち めぐみ)
eメールアドレス m.mizoguchi@kita-bm.com

“みんなに似合う” ヒトマエ 人前清掃 UNIFORM



ユニフォームの更新は
イメージワークにお任せください！



超軽量&ストレッチ素材！
ノンストレスな着心地でポケットも豊富



64116
ラスベリー



ニットのチカラで動きやすい！
ウエストと内股のニットが動きやすさのヒミツ！

動パン+

うご プラス



KNITFIT × TioTio PREMIUM

ハイブリッド触媒®
TioTio®
PREMIUM
TioTio®
プレミアム
KNIT
FIT
ストレッチ
吸汗
速乾
制電

メンズ



レディース



北海道管公学生服グループ
イメージワーク株式会社

〒003-0002

札幌市白石区東札幌2条1丁目5番17号 カンコー学生服ビル

TEL:011-374-4811 / FAX:011-374-4855

ホームページは
こちらのQRコードから！



製
品
情
報

FPS

使ってみると分かる
驚きの軽さ

壁や什器を傷から守る
安全設計+衝撃吸収バンパー

業務用 小型ドライバキューム

極⁵

compact dry vacuum kiwami

動画で
CHECK!
取扱説明書



どんな方でも扱いやすい、コンパクトで軽い設計。
操作性抜群のフロアノズルで、追随性も良く、
軽い力で楽に作業できます。
重量4.5kgで女性の方でも楽に持ち運び可能。
集塵容量5L、コード長さ12m、ダイヤル式のパワー
調整で作業性も抜群。

【電源コードの断線を防止】

電源コードの断線を防止する3つのツールを
標準装備。

断線防止
フック

+

断線防止
ショートケーブル

+

脱着式
電源コード

【標準付属品】



株式会社 **セイハン**

本 社	〒 003-0832	札幌市白石区北郷2条2丁目2-14
	TEL 011-873-2000 FAX 011-873-2100	
旭川営業所	〒 078-8243	旭川市豊岡13条6丁目3-6
	TEL 0166-35-7878 FAX 0166-34-7588	
帯広営業所	〒 080-2470	帯広市西20条南4丁目20-6
	TEL 0155-58-2500 FAX 0155-58-3300	
仙台営業所	〒 984-0051	仙台市若林区新寺3丁目10-36 共立輸送ビル
	TEL 022-792-5211 FAX 022-792-5220	
山形営業所	〒 990-0831	山形市西田5丁目25-7
	TEL 023-616-5800 FAX 023-616-5855	
東京事業部	〒 124-0023	東京都葛飾区東新小岩1丁目15-19 大一産業ビル
	TEL 03-6657-7201 FAX 03-3691-0887	

【壁や什器を傷つけない安全設計】

突起物を最小限抑えた本体デザインと衝撃吸収
バンパーにより、清掃作業中に起こりうる
衝撃から壁や什器を守ります。



【隙間に入り込む極薄ヘッド】

極薄ヘッドで机やコピー機の下もスムーズに
作業できます。ワイドな吸い込み幅で塵の
溜まりやすい壁際や隅もしっかり吸引。



【静音が求められる環境も安心】



パワーセレクトで運転音の
調節が可能です。

55dB（弱）～65dB（強）



除菌

消臭

抗
ウイルス

除菌効果が1週間続く

ビタミン系光触媒 除菌・消臭剤

びきやみん

特許取得済

99%除菌
&
ウイルス除去

※全ての面、ウイルスを除去する
わけではありません。

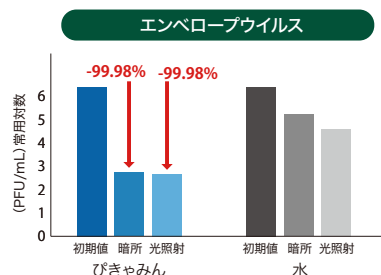


カタログ情報は
コチラから

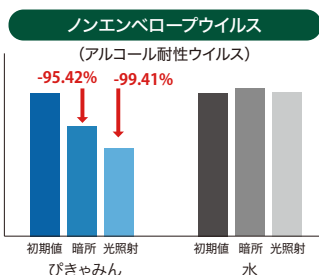


明るい場所でも 暗所でも抗ウイルス、除菌性能を発揮

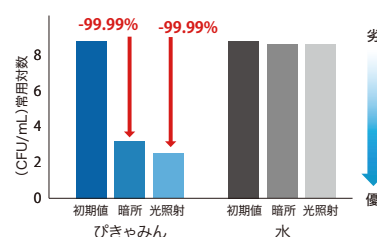
■抗ウイルス性試験



試験機関：一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター
試験条件：白色LED, 500lx, 6h
※本データは、商品、物品の性能を保証するものではありません。



■除菌性試験



試験条件：白色LED, 1,500lx, 2h
菌種：グラム陰性菌
※本データは、商品、物品の性能を保証するものではありません。

■安全性試験

安全性試験	急性経口毒性	皮膚一次刺激性	突然変異誘起性	食物アレルギー検査(ELISA法)
結果	LD50 $\geq$ 2,000mg/kg	無刺激性	陰性	甲殻類由来タンパク質の未検出

試験機関：一般社団法人 日本食品分析センター

ユシロ化学工業株式会社
〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16
<https://www.yushiro.co.jp/>

東京支店 TEL.(03)3750-1101
名古屋支店 TEL.(052)891-0967
大阪支店 TEL.(072)848-7211
北海道営業所 TEL.(011)887-0397
東北営業所 TEL.(022)297-0577
北関東営業所 TEL.(0285)27-0766

浜松営業所 TEL.(053)436-6291
福山営業所 TEL.(084)991-3755
広島営業所 TEL.(082)506-1456
九州営業所 TEL.(092)432-9233
テクニカルセンター TEL.(0467)75-0175



売上金の一部を
ウォーターエイドジャパンへ
寄付しています。

ピル×ンひろば

投稿者

東京美装北海道株式会社 釧路支店 木村 美矢子

今の職場に入るまでの7年間は専業主婦でいて、働き始めてからの約1年間、自分の中ではもう3年位は働いている感覚があります。

働いている中で特に感じた事は挨拶の大切さでした。

挨拶してくれる人・無視する人・挨拶しても目を合わせない人・色々な人がいるのだと思いました。

清掃している時に入れ替わり来て、もしかしたら、きちんと清掃しているのか見に来ているのだと思っていました。

それから何か月か経った頃、挨拶してくれなかった人からも挨拶してくれるようになったり、清掃している時に「いつも清掃ありがとうございます」と言われたり、先生からお礼を言われたりして、びっくりしたけれど嬉しく思い、患者さんからも「いつも頑張っているね」とか「ほかの病院より掃除の仕方がきれいだよ」とか言われ、その言葉の一言が、この仕事をやって本当に良かったと思いました。



今年妻と二人で6月と10月にそれぞれ1週間程度の旅をしました。春は東北、秋は九州まで、自然を眺め寺社を参拝し美術館を見てお目当ての逸品を買いました。

やはり旅と言えば移動手段と宿ですが、この2回の旅はフェリーで海を渡りマイカーで巡り、無料キャンプ場に泊まること！

旅の目的は観光地で楽しむことですが、私のもう一つの電気自動車（マイカー）で長距離ドライブに挑戦することでした。



「充電させてもらえませんか？」の旅はできませんが、目的地を巡りつつ約100km走行ごとに自動車ディーラー、道の駅、高速道路のSAPAなどにある充電スタンドに立寄りしました。

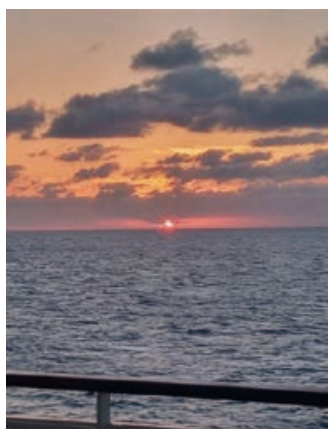
充電では最大30分を要します。道の駅やSAなどではご当地のお土産を買ったり美味しいもんを食べたり、待たされるばかりではありません。

「充電の旅」にこだわったおかげで大型フェリーに乗ることができました。

マイカーを載せて海を渡るのですから！

東北の旅は苫小牧・八戸港間片路8時間、九州までの旅は小樽・舞鶴港間23時間の船旅になりました。

船上では電波がほぼ繋がらないの自然とスマホデトックスの環境となり、食事・睡眠以外は窓やデッキで海や夕日を眺め、コーヒーを飲みながら本を読んだり時間を過ごせました。海に囲まれた国に住んでいるのですから、船は絶対経験すべき旅の手段です。



無料キャンプ場は事前に場所を調べたくらいで、来てみたら3分の1は閉鎖していて探した末に到着が真夜中になることもありました。

内地の田舎道は想像以上に陰しく半泣きになることもありました。しかしヤマネコ・イタチ・イノシシなどに遭遇し感動しました。ドライブ中は北海道では見られない里山の家並みが見られ記憶に残るものでした。

おかげで飛行機の移動では味わえない旅になりました。



会員の皆様へ

ビルメンひろば 作品募集!!

〔 デジカメ写真 〕 の部

北海道各地の名所旧跡、各地の風景、ペット、植物園芸等、趣味ダンス、スポーツ等作品を募集しています。

採用された作品は、北翔の「表紙」や「ビルメンひろば」に掲載いたします。

(デジカメ写真サイズは 1枚5メガ以内、作品には簡単なコメントを添えて)

・エッセイ

随筆／随想／業務の体験等(題材自由) 1200文字以内

〔 文 芸 作 品 〕 の部

・短歌／俳句／川柳 1回に各5点まで

◎ 作品はメールにて連絡先を明記しお送り下さい。

(連絡先・会員企業名・氏名・連絡先電話番号)

応募受付メールアドレス → bmhiroba@kita-bm.com

◎ 募集は随時 掲載の締切は ≪ 夏季号(7月上旬) 新年号(11月末) ≫

※ 採用された作品には、記念品を進呈いたします。

※ 採否並びに添削は編集部(事務局)に一任下さい。

※ 応募いただいた作品は、採用・不採用を問わず返却いたしません。

問い合わせ先 Tel 011-615-1100 (北翔 事務局)

“北翔” おすすめ「製品や技術情報」を 随 時 募集しています。

製品の特長や商品写真、お問い合わせ先などA4サイズ1, 2枚程度(カラー)で原稿を作成し、北翔事務局にお送りください。

※ 採否並びに添削は編集部(事務局)に一任下さい。

(掲載の締切 夏季号(6月末) 新年号(11月末))

メールアドレス → bmhiroba@kita-bm.com

編集後記

- ◎ あけましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。
- ◎ 巻頭、北海道知事 鈴木直道氏、札幌市長 秋元克広氏、から新年のご挨拶を頂き、厚くお礼申し上げます。
- ◎ 令和4年度 労働安全衛生大会、労働災害防止 論文・標語の入選作品を掲載しました。
- ◎ 各地区協議会活動の中から数点をトピックスとして掲載しました。
- ◎ “ビルメンひろば” に各地区協議会広報担当に協力いただき投稿作品を掲載しました。
- ◎ 令和5年1月11日札幌グランドホテルにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を万全の上、創立60周年記念式典、第60回優良従業員表彰式、祝賀会を合同で実施しました。
- ◎ 近年は社会情勢が目まぐるしく変化しています。大切なことは変えずに守っていき、時代のニーズに合わない事は大胆に変えていくなど、今まで以上に臨機応変な心構えが必要な時代に入ったのかと日々感じているところです。
- ◎ 本年も体調管理に気を付けて、良い1年になりますよう頑張っていきましょう!

編集責任者 広報委員長 山 本 有 希

室内環境測定セット

環境測定機器・科学機器の製造販売
SIBATA

Indoor Pollution Evaluating System

- 画期的なサイズ感

180(W)×130(D)×150(H)

- 小型軽量化 (2.3Kg 三脚を含む)

により一人で持ち運び可能

- タブレットPC+

本体のみで測定可能

IES-5000型

- 測定操作はタブレットから

専用ソフトを使用し操作が簡単

- 6項目同時測定、測定時間1分～

(オプションにより最大9項目)

- 測定結果表示・報告書作成も

全てタブレットPC1台のみで可能

※質問、デモンストレーション等の御依頼は下記連絡先までどうぞ！！

東美商事株式会社

※2020年11月24日～移転しました

札幌営業所 北海道札幌市中央区大通西8丁目2番地 住友商事・フカミヤ大通ビル6階
〒060-0042 PHONE 011-252-1280 FAX 011-252-1281

バッテリー共通化の新時代

新型リチウムイオンバッテリーを共通化することにより
利便性の向上&ランニングコスト削減！



NX300バッテリー

ディオス エヌエックス
Dios NX
Cordless Battery Vacuum

コードレスポット型掃除機



◀ Dios NX 製品紹介ビデオ

デュエル 1840 エヌエックス
Duel 1840 NX
Li-ion Compact Scrubber

Li-ion コンパクト自動床洗浄機



◀ Duel 1840 NX 製品イメージビデオ

デュエル 244 エヌエックス
Duel 244 NX
Li-ion Compact Scrubber

Li-ion アップライト型自動床洗浄機



◀ Duel 244 NX 製品イメージビデオ

NX300バッテリー

検索

大切な場所には、きっと。



シーバイエス株式会社 www.facebook.com/CxSJapan

●本社/〒231-0023 横浜市中区山下町22番地(山下町SSKビル) お客様ご相談窓口 TEL.045-640-2280 FAX.045-640-2216



SEIHAN

人と地球を守る
やさしい環境つくり。



清掃用品・資機材のことなら..

SEIHAN 株式会社 **セイハン**

【本社】 札幌市白石区北郷2条2丁目2-14
TEL : 011-873-2000 FAX : 011-873-2100
【旭川】 旭川市豊岡13条6丁目3-6
TEL : 0166-35-7878 FAX : 0166-34-7588
【帯広】 帯広市西20条南4丁目20-6
TEL : 0155-58-2500 FAX : 0155-58-3300
【仙台】 仙台市若林区新寺3丁目10-36 共立輸送ビル
TEL : 022-732-5211 FAX : 022-792-5220
【山形】 山形市西田5丁目25-7
TEL : 023-616-5800 FAX : 023-616-5855

ホームページもございます。よろしければ是非、検索してみてください。

www.seihan.biz

検索



刷子及び清掃用品の製造並びに販売

生活と環境に「キレイ」を届ける



ブラシ **タケヤ刷子工業株式会社**

各種刷子/業務用ワックス・洗剤/清掃用資機材/厨房衛生用品他 <http://www.takeyaburashi.co.jp>

本 社	〒060-0031	札幌市中央区北1条東2丁目4番地	TEL(011)221-3116	FAX(011)241-0036
函 館 営 業 所	〒040-0072	函館市亀田町20番10号	TEL(0138)41-3480	FAX(0138)41-9004
旭 川 営 業 所	〒078-8218	旭川市8条通18丁目右7号	TEL(0166)34-6100	FAX(0166)34-6700
帯 広 営 業 所	〒080-0801	帯広市東1条南20丁目1番1	TEL(0155)27-1681	FAX(0155)22-0191
埼 玉 営 業 所	〒343-0844	埼玉県越谷市大間野町4丁目155	TEL(048)986-1351	FAX(048)989-0878
北 海 道 工 場	〒072-0006	美唄市東5条北9丁目3番18号	TEL(0126)63-3961	FAX(0126)63-3962

世界初！洗浄プログラム制御

鍵管理システム搭載で均一清掃を実現



業務用自走式床洗浄機
BR 45/40 W Bp プレミアム



違いを生む ケルヒャーの床洗浄機

■鍵管理システムで均一な清掃が可能

世界初の鍵管理システム(KIK)を採用。2種類の鍵で権限を分け管理者が清掃内容を設定し、作業者は設定の範囲内で清掃を行います。作業者を問わず誰でも均一な清掃結果が得られます。



■簡単操作で効率よく清掃

自走式のため、作業の際や移動時の負担を軽減します。また、作業者が操作するスイッチ類は色分けされており、操作ミスを防止します。

■経済性にすぐれた洗剤節約システム

洗剤を必要な量だけ直接ボトルから投入できるので、無駄がなく経済的です。また、タンクが汚れないので、後処理の手間がありません。

ケルヒャー ジャパン株式会社

札幌支店 TEL:011-879-2181

〒003-0871 北海道札幌市白石区米里1条2丁目10番6号

ホームページ <http://www.karcher.co.jp>

KÄRCHER®

makes a difference



RINREI リンレイ ソーシャル・ハイジエニックシステム

SOCIAL HYGIENIC SYSTEM

多目的除菌洗剤

ノンアルコール

塩化ベンザルコニウム 0.05%配合

ハイジエニック除菌クリーナー中性

毎日のことだから、ローコストでウイルス除去・除菌^{*1}＋洗浄を。しかも安心・安全に。

ローコスト

+

ウイルス除去・
除菌^{*1}

+

安心・安全

1 ローコスト

市販アルコール類にくらべ、大幅ローコストでウイルス除去、除菌^{*1}が可能。しかも洗浄も同時にできて、作業効率も大幅アップ。

2 ウイルス除去、除菌^{*1}＋洗浄が1ステップ

ウイルス除去、除菌^{*1}作業に各種エビデンス^{*2}を有し、しかも1ステップで汚れの除去まで可能な強力洗浄設計。

3 安心・安全

中性タイプなので様々な箇所に、どなたでも使えて安心。アルコール類にくらべ、素材、使用者への影響や、保管、管理方法での危険性が少なく安全。さらに希釈せずにそのまま使えて簡単便利。

※1 すべての菌、ウイルスを除去するものではありません。 ※2 エビデンスに関しましては営業担当にご相談下さい。



18L



450mL/本 12本入/ケース

お買い得
詰め替え
タイプ

●使用時には安全作業のため、各製品の使用上の注意を読んでから正しくご使用ください。 ●ここに記載された内容以外の詳細につきましては、弊社担当営業までお問い合わせください。



株式会社 リンレイ

業務製品事業部

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座4-10-13
TEL.03(3541)4851(代)

東京 03(3543)2281・大阪 06(6394)4571・名古屋 052(581)8241・福岡 092(883)7000
札幌 011(521)5271・仙台 022(223)6868・広島 082(232)2333・高松 087(834)2738

<https://www.rinrei.co.jp/>

FM589905/ISO9001
EMS589904/ISO14001
素野事業所認証登録



スマホからアクセス

美しく、爽な環境をつくる

清掃用品ならなんでも揃う

CLEAN & BEAUTY

HOKUSEI

北清産業株式会社

〒001-0903 札幌市北区新琴似3条2丁目

TEL (011) 761-8151(代)

FAX (011) 764-4693

豊富な品揃えで、現場をサポート！

レンタル品目

高所作業車・橋梁点検車・トラック各種
仮設機材・仮設ハウス・測量機器・照明器具
土木機械・発電機・溶接機・コンプレッサー
高圧洗浄機・フォークリフト・荷役機械
無線機・除雪機・暖房機器・電設機材etc...



ロータリーモア



家族のまさお



G23HD-J

クボタ 乗用刈払機



塵芥車 最大積載量 2t



40m



30m



12m



高所作業車 12m～40m

現場にあった機種をご用意致します！



美装用品～プロ用フロアメンテナンス機器～

SK LEASE エスケーリース株式会社
Lease & Rental

TEL : 011-775-4141 FAX : 011-775-4588
本社 : 札幌市北区百合が原6丁目1番20号
西センター : 札幌市西区発寒17条3丁目3番
白石センター : 札幌市白石区米里3条2丁目7番2号
大谷地センター : 札幌市白石区流通センター4丁目4番32号
丘珠センター : 札幌市東区北丘珠3条4丁目2番40号
☆HP=<http://www.sk-lease.co.jp> ☆E-Mail=head@sk-lease.co.jp

WetVac | F-30Li



Clean Innovation Company

ペンギンワックス株式会社

本社・工場 大阪市東成区東中本3-10-14 (〒537-0021)

CORDLESS

コードレスウェットバキューム(固定スクイジー)

ホームページがリニューアルしました! ▶ ペンギンワックス

検索

圧倒的な作業効率!



別売でツールキット
もございます。

連続稼動
※① 70分

充電時間
※② 60分

※①、②はバッテリーLV925,充電器
CLV9251を使用した場合です。

●バッテリー交換も簡単



●汚水排出方法は2パターン



- ・バッテリーを搭載したままでも
2階、3階へラクラク持ち運び!
- ・電源コードの制約から解放され
洗浄作業が早く、効率的に!
- ・連続長時間作動、急速充電
バッテリー交換も簡単!
- ・電源を探したり、ブレーカーを
落とす心配も無用!

Allway Liコードレスマシンシリーズ
バッテリー、充電器が共有できて便利!



●コードレスブロワー
BL-24Li

●WetVac
H-12Li

●BP-130Li/150Li

究極の1層仕上げ

透明感の高い皮膜で、光沢が高く、
長期間の美観維持が可能。

超高濃度樹脂ワックス

ポリース ユシロンコート

グロススペック27

ご用命・お問い合わせは...

ユシロ化学工業株式会社



〒003-0026

札幌市白石区本通19丁目南2番7号 食糧ビル3階

電話 **011-887-0397**

CORELEX 業務用トイレに最適!

3倍巻ロールの〈コアレス〉だから、こんなに便利でお得



- ①取り替え手間が3分の1
- ②収納スペースも2分の1
- ③トイレがつまる原因となるボール芯が無く、ゴミも減量。

更にカギ付きだから
盗難の心配は
ありません。

トイレットペーパー・ティッシュペーパー・タオルペーパーのことなら

コアレックス道栄株式会社 札幌営業所

〒060-0004 札幌市中央区北4条西15丁目1番14号 コアレックスビル 4階

TEL (011) 633-2323 FAX (011) 633-4555




UNIFORM HAS COME!

ユニフォームを変えると、仕事もハズむ。

北海道管公学生服グループ
イメージワーク株式会社

イメージワーク 札幌

検索

<https://www.image-work.net>



〒003-0002

札幌市白石区東札幌2条1丁目5番17号 カンコー学生服ビル

TEL 011-374-4811

FAX 011-374-4855

”魅せる清掃”を通じてビルメンテナンスの本質を
社会に伝え、業界発展に貢献します。



環境美化用品総合メーカー

TERAMOTO

大阪・東京・名古屋・札幌・仙台・埼玉・横浜・広島・福岡
<http://www.teramoto.co.jp/>

ISO9001 八尾工場 認証取得 成田工場
 ISO14001 八尾サイト(八尾工場) 認証取得 成田サイト(成田工場・成田物流センター)



PURETE

ウルトラファイン
バブル^(※1)自体が洗淨
効果を発揮します。

人にやさしく
自然にやさしい

コスト削減

洗淨力アップ

洗淨剤不使用

環境への
負荷軽減

設備への
負荷軽減

業務
安全化

労力削減

(※1) ウルトラファインバブルとは、
直径 100 マイクロメートル未満
の気泡であるファインバブルの
うち、直径が 1 マイクロメー
トル未満の気泡のことをいいます
(ISO20480-1)。

◆洗淨剤を使う場合でも、
その効果を上げる特性も
有しています。

Brilliant Together
KINBOSHI
 株式会社 金星
www.kinboshi-inc.co.jp

●札幌 〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西 3-2-14 井門札幌ビル 6F
 ●東京 〒102-0081 東京都千代田区四番町 4-8 野村ビル 3F
 ●大阪 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 1-10-26 サクラ森ノ宮ビル 1F
 ●岡山 〒711-0907 岡山県倉敷市児島上の町 2-1-68
 ●福岡 〒812-0022 福岡県福岡市博多区神屋町 2-26 1F

TEL (011) 232-2333:FAX (011) 232-2332
 TEL (03) 3511-8441:FAX (03) 3511-8440
 TEL (06) 6975-2600:FAX (06) 6975-2001
 TEL (086) 470-0511:FAX (086) 470-0364
 TEL (092) 260-3508:FAX (092) 260-3518



ほく しょう
北 翔 (新年号)通巻121号 2023年1月31日

発行所 一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会
〒060-0003 札幌市中央区北3条西17丁目2番3号
ビルメンテナンス会館
電話(011)615-1100・FAX(011)615-7055

発行 代表者 岡田 知己

編集者 広報委員会